

## 平成 31 年度「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る研修計画書

## 【 1 .機関・団体概要】

機関・団体名	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター
機関・団体代表者 (役職・氏名)	理事長 工藤 定次
所在地	〒197-0011 東京都福生市福生 2351- 1
電話番号 / F A X 番号	042-553-2575 / 042-551-6759
メールアドレス 本研修担当者	<a href="mailto:ysc@interlink.or.jp">ysc@interlink.or.jp</a> 担当者名：河野 久忠
H P アドレス	<a href="http://www.npo-ysc.jp/">http:// www.npo-ysc.jp/</a>
研修実施場所	〒197-0011 東京都福生市福生 2351- 1
研修実施場所の最寄駅	JR 青梅線 福生駅
組織概要 (設立趣旨)	日本の将来を担う青少年の健全育成を考える時、全ての青少年にその機会が提供されるべきである。不登校、ひきこもり状況に陥った青少年が、社会参加できないことは、当事者、保護者にとって育成の機会を失ったことに他ならない。当センターは、当該青少年が自ら尊厳を持ち、積極的に社会参加できるよう寮生活を通して、心の傷の回復や人間同士の信頼関係、基本的な生活習慣の立て直し、将来に対する目標を持つことができるようサポートする。
職員数	全職員数 80 名 (常勤 37 名 / 非常勤 43 名)
機関・団体における アウトリーチの特徴等 について	当法人では開設以来アウトリーチ事業を基軸とした青少年自立支援活動を全国的に展開してきた。近年、景気の低迷等の影響もあるのか、地域に関係なくニート層が多く目につくようになってきた。しかしながら、実際にアウトリーチをできる機関は少なく、そのスキルも一定ではないのが現状である。そのような、状況に対して一定スキルを持った人材の育成が急務と考えられる。当法人では、年間 300 件超の訪問支援を実施していて、その臨床例も多く蓄積されている。20、21、22 年度においては、東京都委託事業のひきこもり支援「コンパス」で支援員向けの講座をおこなった。23 年度からは「東京都若者者聞参加応援事業」でも民間団体・公的機関職員向けの講座を実施している。より実践に近い形で、座学よりはロールプレイの時間を多くとり、また訪問支援の同行も行った。それにより、各々の現場において有効なアウトリーチの実践をおこなえるようになったとのご報告をいただいている。そのような部分のノウハウも研修事業の中で生かして行き、研修後直ぐに役立つ内容としたい。そのような人材が多く輩出されれば、各地域において、早期対応ができるようになり、ひきこもり状況が厳しくなる前に対処できると共に、予防的な側面も期待できる。本事業において多くの人材が広域に展開されればと考えている。

機関・団体で運営している 相談・支援機関名	あだち若者サポートステーション
	いたばし若者サポートステーション
	多摩若者サポートステーション（八王子若者サポートステーション含）
	フリースペースわかば（セーフティネット足立）
	あらかわ就労サポートデスク
	ひきこもりサポートネット（東京都）{ひきこもり地域支援センター事業}
	障害者就業・生活支援センターけるん

## 【 2 .平成 30 年度中のアウトリーチの実績概要】

<p>訪問件数 250 回以上。</p> <p>対象 全国の概ね 10 代～30 代のひきこもり・ニートの方。</p> <p>支援方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士、精神保健福祉士等の専門職の参加。</li> <li>・インテーク面接における専門的な聞き取り、アセスメント。</li> <li>・対象者に対して信頼関係の構築、情報提供、誘導を慎重に行っている。</li> <li>・家族に対する心理面のサポート、家族関係の調整。</li> <li>・定期的なケース会議を実施。</li> </ul>
--

## 【 3 .過去 2 年間ににおける子供・若者の支援に関する研修実績】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都若者社会参加応援事業 27 年 4 月～28 年 3 月 <ul style="list-style-type: none"> <li>『訪問支援員実践講座』 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般の支援団体向けのアウトリーチ講習</li> </ul> </li> <li>『東京都若者社会参加応援事業研究団体（訪問支援）向け講習』 <ul style="list-style-type: none"> <li>座学・ロールプレイ・訪問同行・事例検討会</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・生活困窮者自立支援法に基づく事業従事者向け課題別研修（ひきこもり支援）東京都福祉保健局（座学・ワークショップ）</li> <li>・ひきこもりサポートネット（東京都） （支援団体向け講習会の開催：テーマ別で年間 12 回開催）</li> <li>・平成 30 年度子供・若者支援地域ネットワーク強化推進事業（徳島県松茂町・北島町） （ひきこもり支援に関する座学と質疑）</li> <li>・平成 30 年度子供・若者支援地域ネットワーク強化推進事業（東京都調布市） （ひきこもり支援に関するパネルディスカッション）</li> <li>・平成 30 年度 T O S C A 支援者育成講座（東京都・発達障害者支援センター） （ひきこもり支援に関するパネルディスカッション） 等</li> </ul>
---

#### 【 4 . 過去 3 年間に おける 国 又は 地方 公共 団体の 委託 事業 や 自主 事業 等 】

ひきこもり等への相談・訪問事業・自立・就労支援事業・寮運営事業・フリースペース運営・  
 Y S C グローバルスクール（海外にルーツのある若者への支援）等（自主事業）  
 障害者就業・生活支援センター（厚労省・東京都）  
 就労継続支援 B 型・就労移行支援事業所  
 グループホームきんもくせい  
 ひきこもりサポートネット（東京都）  
 あだち若者サポートステーション（厚生労働省）  
 いたばし若者サポートステーション（厚生労働省）  
 多摩若者サポートステーション（厚生労働省）  
 足立区若年者就労支援事業（足立区）  
 中途退学未然防止及び中途退学者等への支援事業（東京都）  
 青梅市における若者の自立等支援体制整備事業（青梅市）  
 多摩市子ども若者育成支援業務（多摩市）  
 まなぶーす板橋（板橋区）  
 まなぶーす福生（福生市）  
 ひとり親等学習支援事業（八王子市）  
 八王子市若年無業者就労促進事業・就労準備支援事業（八王子市）  
 被保護者就労促進事業（足立区） 等

#### 【 5 . 「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る講師（担当者）】

	「アウトリーチ研修」実施上の役割（役職名）	氏 名	・関連保有資格 ・アウトリーチの経験年数
1	統括責任者（常務理事）	河野 久忠	教員免許 訪問支援歴 24 年
2	主任訪問支援員（事務局長）	菅野 周平	訪問支援歴 16 年

#### 【 6 . 研修生の受入条件】

	受 入 条 件
受入れ可能な日数	両方可
受入可能な日程	10月7日(月)～10月18日(金) (必要に応じて日程調整可)
受入可能な人数	3名
保有資格の要否、 その他の受入条件	特に無し

## 【7. 「アウトリーチ（訪問支援）研修」の研修内容】

研 修 内 容	
下記の「初日」～「最終日」までの研修内容については、過去の実績に基づいた予定となります。	
研修全体の概要	ニート・ひきこもり状況のトータルしたサポートを体験してもらう。入口のインターク面接の重要性からアウトリーチの実際を座学・ロールプレイで体験してもらう。また、生活困窮者等の支援も視野に入れ、当法人で実施している生活保護家庭の支援・アウトリーチも体験してもらう。最終的には、出口の部分を理解する必要があるため、就労支援等の事業にも参加してもらい、支援の全体像を理解してもらえるように講習を実施していく。
研修初日の 開始予定時刻	13：00 開始
研修最終日の 終了予定時刻	16：30 終了
2日以降の 研修開始時間	8：30 開始
2日以降の 研修終了時間	16：30 終了
初日の内容	ガイダンス ひきこもりに関する座学
アウトリーチ（訪問支援） がない日の内容	現場実習（就労支援現場の体験等） イベントへの参加（文化祭への参加・準備） ロールプレイ（インターク・訪問支援） 困窮者支援に関する研修
アウトリーチ（訪問支援） 同行日の内容	実施地は未定 担当職員と訪問ケースの内容確認 訪問同行実施後にふりかえり。
最終日の内容	全体のふりかえり・まとめ
実地研修における アウトリーチの回数（予定）	1回以上
研修生の宿泊について	近隣宿泊施設
休業日について	実施期間中に、2日間設ける。曜日に関してはスケジュール決定後。
備考欄 （服装等）	服装は、動きやすい普段着で大丈夫です。